

令和 5 年度

事業報告書

社会福祉法人 溪明会

目 次

I. 事業結果	
1. 法人体制	2
2. 法人人事	2
3. 入札	3
4. 事業実績	3
II. 令和5年度 事業所取り組み結果	
障害者支援施設 溪明園からまつ	4
障害者支援施設 溪明園あすなろ	5
多機能型事業所 溪明園めるへん	6
障害者支援施設 花椿きらめき	6
障害者支援施設 花椿あおぞら	7
多機能型事業所 花椿かがやき	8
ホームやつわ、ホームあやこ、ホームいすぎ	9
ホーム柴田屋、ホーム柴田屋みなみ、ホーム庄川、ホーム庄川第2	9
日中サービス支援型ホームごごみ	10
放課後等デイサービス事業所 きっずるーむクローバー	11
放課後等デイサービス事業所 きっずるーむごごみ	12
障がい者サポートセンターきらり(相談系事業)	12
障がい者サポートセンターきらり(障害者就業・生活支援センター事業)	13
砺波圏域障害者基幹相談支援センター	13
III. 令和5年度 地域との関わり、貢献等	14
IV. 令和5年度 委員会等報告	15
V. 統計資料	
1. 法人本部	17
2. 障害者支援施設 溪明園からまつ、障害者支援施設 溪明園あすなろ	22
3. 多機能型事業所 溪明園めるへん	25
4. 障害者支援施設 花椿きらめき、障害者支援施設 花椿あおぞら	27
5. 多機能型事業所 花椿かがやき	30
6. グループホーム(ホームやつわ、ホーム柴田屋、 日中サービス支援型ホームごごみ)	32
7. 放課後等デイサービス事業所 きっずるーむクローバー	33
8. 放課後等デイサービス事業所 きっずるーむごごみ	35
8. 障がい者サポートセンターきらり	37
9. 砺波圏域障害者基幹相談支援センター	38

I 事業結果

令和5年度は、前年度に引き続きコロナの影響により、利用者には帰省や外出等、制約を強いることとなったが、感染法上の2類相当から5類への移行を機に、地域との交流を徐々に再開し、行事は実施方法を見直すことで、感染に注意しながら行った。その一方で、利用者、職員のコロナ感染者によるクラスターも発生し、感染対策・対応費用の増加と併せて、事業所を運営するための支援人員の確保に苦慮した。対応した職員は自らの危険を顧みず利用者の支援にあたり、結果自身の感染を招く職員も多数いたが、福祉職員としての強いプロ意識のもと、その使命を果たした。

職員の身分を保証し安定して働くことができるよう、常勤の有期雇用契約者を定年までの無期雇用職員へと身分変更した。人材確保はインターネット、人材紹介、就職説明会、新聞等への折込などを活用し募集したが、多種多様職種で人材が不足していることからタイムリーな対応に苦慮した。

コロナの影響が残る厳しい環境の下、障害福祉サービス事業の利用率が伸び悩む中、新たな加算等の取得により収入実績は一定額を確保することができた。費用については、人件費、諸物価高騰の影響により上昇し、その伸び率は収入のそれを上回ったことで収支状況は若干悪化した。

直近の法人運営に影響しない余裕資金については、従来の定期預金の他に債券による資産運用を行った。運用期間の長期化によるリスクを避け、2年以内程度の債券を中心に保有し、一定の運用益を確保することができた。

1 法人体制

(1) 理事会・評議員会等

理事会を3回、評議員会を1回、監事監査を1回開催。

(2) 会議

会議名	参加者	内容	開催
経営委員会	理事長、本部室長、エリアマネージャー等	経営及び事業の進捗状況の確認	毎週
運営委員会	経営委員に加え、オフィスリーダー等	事業所毎の経営及び事業の進捗の確認	毎月
各種委員会	各委員	テーマ毎に協議	随時
支援担当(生活支援、日中活動支援等)会議	事業所毎	利用者個々のニーズに対応すべサービス体制協議	毎月

2 法人人事

(1) 役員等改選

役員等	改選理由	改選状況
理事	任期満了	5名再任、2名新任
理事長	理事改選	宮西聡理事が理事長に就任
常務理事	理事改選	土山美由紀理事、中嶋明広理事が常務理事に就任
監事	任期満了	2名新任
顧問	任期満了	1名再任、1名新任
評議員選任・解任委員	欠員	2名選任
評議員	欠員	1名選任

※ 理事定数の改正により、理事1名欠員。評議員1名辞職につき、1名欠員。

(2) 職員

身分	採用	退職
職員(総合職)	2人	6人
職員(業務職)	6人	2人
嘱託(一般職)	0人	1人
嘱託(業務職)	1人	1人
パート職員	19人	18人

3 入札

社会福祉法人溪明会 障害者支援施設花椿省エネ化改修工事

事業費：280,000千円(税込)

指名6業社により入札を行い前田建設株式会社(小矢部市)が落札する。

4 事業実績

(1) 施設入所支援事業

利用率	令和3年度	令和4年度	令和5年度
障害者支援施設 溪明園からまつ	88.8%	87.0%	83.4%
障害者支援施設 溪明園あすなる	89.1%	90.7%	95.0%
障害者支援施設 花椿きらめき	99.0%	99.0%	97.0%
障害者支援施設 花椿あおぞら	100.0%	99.0%	100.0%

(2) 生活介護事業

利用率	令和3年度	令和4年度	令和5年度
障害者支援施設 溪明園からまつ	88.8%	86.9%	83.7%
障害者支援施設 溪明園あすなる	90.1%	90.8%	95.1%
多機能型事業所 溪明園めるへん	98.7%	92.8%	92.3%
障害者支援施設 花椿きらめき	91.0%	90.0%	89.0%
障害者支援施設 花椿あおぞら	94.0%	91.0%	92.0%
多機能型事業所 花椿かがやき	72.0%	82.0%	91.4%

(3) 就労継続支援B型事業

利用率	令和3年度	令和4年度	令和5年度
多機能型事業所 溪明園めるへん	91.3%	89.9%	89.7%
多機能型事業所 花椿かがやき	71.0%	88.0%	90.2%

(4) 短期入所事業

延べ利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度
障害者支援施設 溪明園からまつ	35人	30人	194人
障害者支援施設 溪明園あすなる	109人	11人	0人

障害者支援施設 花椿きらめき	156人	137人	33人
障害者支援施設 花椿あおぞら	0人	67人	26人
日中サービス支援型 ホームこごみ	38人	---	

(5) グループホーム事業

利用率	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ホームやつわ	90.4%	93.9%	90.7%
ホーム柴田屋	95.3%	97.6%	94.5%
日中サービス支援型 ホームこごみ	91.9%	88.3%	87.3%

(6) 放課後等デイサービス事業

利用率	令和3年度	令和4年度	令和5年度
放課後等デイサービス事業所 きつずるむつろーばー	105.7%	107%	101.0%
放課後等デイサービス事業所 きつずるむこごみ	62.3%	102.0%	86.5%

(7) 相談支援事業、障害児等療育支援事業

障害特性に応じて本人のニーズに合ったサービスが利用できるよう支援を行った。また、本人の生活状況や家族状況に応じた地域の支援体制を構築するとともに、情報提供や見学・体験などを通して本人の意思決定を尊重し、地域生活を継続できるように相談支援を行った。

(8) 障害者就業・生活支援センター事業

障害者合同就職面接会後に一般企業での職場実習が増え、職場実習あっせん件数や就職件数が増加した。

地域における関係機関とのネットワーク形成のための会議や研修会を集合型で開催し、顔が見える関係作りに努め、関係機関との連携強化を図った。

II 令和5年度 事業所取り組み結果

障害者支援施設 湊明園からまつ

1 実施事業

入所支援事業（40名）、生活介護事業（40名）、短期入所事業（空床型）、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 感染を予防し、一人ひとりが安心できる生活環境の整備

男女間の生活空間を区別することで相互移動が減少し、トラブルを少なくすることができた。また、年齢的な活動が異なることによる事故防止にも配慮できた。

令和6年1月半ばに新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生した際も、間仕切で利用者間の行き来を遮断したことで、ほぼ男性利用者のみでの感染で収束することができた。年間を通して感染予防のため定期的な館内消毒や食前の手洗いを継続的に実施することで感染防止に努めている。

2) 健康づくりの増進

運動をする機会が減ったり年齢を重ねることで、体力の低下がみられる利用者が増えてきた。体力維持増進活動の一環として館内清掃や廊下でのウォーキングを通して運動の機会を設けている。リサイクル班は天候やアルミ缶の残量次第によっては、体力の維持向上を目的に散歩を行ったりした。軽運動班のメンバーは年齢や身体機能の個人差もあるので、職員が各2～3名で常に付き添い散歩を実施した。また、余暇時間も体を動かすことを心掛けた。

3) 夜間スタッフと支援員等との連携の強化

利用者へのより良い支援のために、年1回、夜間専任スタッフと会議を行った。業務内容の改善点として、引継ぎの定期的な実施と項目内容の再確認を行った。また、虐待防止法や個人情報保護法についての理解と夜間の救急搬送時の対応、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染予防に関する協力体制について、引き続き周知した。

その結果、夜間スタッフの業務内容に関しては、夜勤者と必要な引継ぎ、連絡調整を円滑に行う事ができた。また、支援においては、利用者への声掛けや対応方法に配慮して業務に取り組む様子が見られた。

障害者支援施設 溪明園あすなろ

1 実施事業

入所支援事業（30名）、生活介護事業（30名）、短期入所事業（空床型）、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 「私たち抜きに私たちのことを決めないで！」意思決定支援の強化

利用者の個別支援計画書原案作成時のニーズ調査や日々の行事立案において、利用者の意思や希望に耳を傾けた。4年振りの利用者旅行では利用者の希望を取り入れた結果、西棟・東棟に分かれて、希望の多かった場所へ旅行に出かけることができ、利用者の満足した様子が見られた。

事業所会議では毎回ミニ勉強会を実施した。主に専門誌「さぼ一と」を活用したり、強度行動障害者支援の研修報告をしたりして、職員の知識・技術向上に取り組んだ。

利用者幸福度調査は年2回実施した。80点以上の方50%以上を目指したところ、40%に留まったが、平均値は79点と幸福度が高まってきた。

2) 健康状態の情報共有化と心地よい居住空間づくり

ICT介護「眠りスキャン」を活用して、体調の良好不良にかかわらず、呼吸数や心拍数の増減等をいち早く発見し、状態の変化に気付き、迅速かつ適切な対応に取り組んだ。

特に、夜勤時間に夜勤職員が利用者の呼吸数や心拍数の増減等を確認することが増え、睡眠の質や量を把握することができた。翌日の引き継ぎでは、気になった利用者を報告し、看護師が状況を把握することで、早期の対応に努めた。必要な情報を、毎月の回診時に主治医へ報告した。今後も改善点を周知徹底し、日々の支援につなげていく。

3) 感染症に適切に対応した事業所の仕組みづくり

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が令和5年5月より5類へ引き下げられ、これまで以上に集団感染の拡大リスクが高まる恐れから、事業所内で予防と拡大防止の仕組み作りを再構築した。振り返りでは、感染拡大の時系列の確認、ソフト面(体制等)、ハード面(構造等)を検証した。また、健康状態の把握のため、上述の眠りスキャンによる就寝時間帯の様子確認や服薬状況の一覧ファイルの整理等を行った。さらに、看護師による防護服着用の研修会を実施し、非常時の備えを行った。

令和6年2月に2回目(累計)の新型コロナ感染クラスターが発生したが、看護師の適切な指導による初動のゾーニング等の体制整備や、各職員が役割を果たすことによって、短期期間で感染を終息することができた。引き続き、感染対策に取り組んでいく。

多機能型事業所 湊明園めるへん

1 実施事業

生活介護事業(7名)、就労継続支援B型事業(13名)、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 新たな商品への取り組み

原材料・水光熱費等高騰の影響により、焼菓子やパンなどの商品単価の見直し(値上げ)を機に新たに付加価値のある商品の開発を行なった。商品価値(見栄え、味覚、食感等)はもちろん、生産効率が高く、比較的長期保存できるものとして、3種類の商品(キャラメルナッツクッキー、パウンドケーキ、フロランタン)を開発し、試作販売を行なった。今後の焼菓子のラインナップ拡充の足掛かりとすることができた。

2) 生産活動の提供

事業所近隣の畑を借り、生活介護事業所の利用者を対象に、野菜栽培の体験の機会を提供した。トマト、キュウリ、ナス、サツマイモなどを植え、収穫までを各々が役割を持って栽培に取り組んだ。収穫後は、事業所の行事等で調理して食べたり、地域のイベント等にて販売したりした。一連の活動を通して、他事業所や地域の方々との交流も持つことが出来た。また、生活介護事業所の利用者であっても、希望者は、サービスの垣根を超えて就労継続B型の仕事である石動駅や土木事務所の清掃に参加し、本人の意思を尊重した活動を提供することが出来た。

障害者支援施設 花椿きらめき

1 実施事業

入所支援事業(30名)、生活介護事業(40名)、短期入所事業(併設型2床+空床型)、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 生活様式の見直し

コロナ禍の生活が続く中で、自立した生活を送るために、可能な限り身辺自立を働きかけた。歯磨きでは、洗面所の混雑化による利用者同士のトラブル回避及び、利用者の自立度に応じた支援ができるよう歯磨き場所を区分けした。このことで支援度が高い利用者の仕上げ磨きをしっかり行う事ができるようになった。また、毎月の歯科訪問診療での指摘事項を、職員間で共有し、歯の衛生面を強化している。

食事面では、栄養士、看護師と情報共有しながら、利用者個々の食事摂取状況や毎月の体重測定結果から食事の内容や量の見直しを行った。標準体重を超えた利用者にはカロリーを制限し、食事摂取量が少ない利用者には補食でカロリー摂取に努めた。日中活動では、施設の周囲を散歩したり、体育館内でのウォーキングやトランポリン、ボール運動で身体を動かし、適性体重を保ち健康の維持・増進に努めた。コロナ禍において増加傾向にあった体重を標準に近づけている。

2) 個別ニーズに応じた多様な活動をとおして、心身のリフレッシュ並びに健康を維持・増進

する。

モニターテレビを購入し、ラジオ体操以外の体操にも取り組んだ。色々な体操を行うことでマナー化することなく、利用者も楽しみながら健康的に身体を動かしていた。また、ユーチューブやネットフリックス等、これまでに観ることが出来なかった動画等も視聴でき、その選択肢が広がった。これまでのDVD鑑賞に比べると視聴する利用者数も増え、観たい動画のリクエストが出るようになった。

井口保育園とのサツマイモ栽培を通じた交流会を3年ぶりに再開した。環境整備班のメンバーが中心となり、石拾い、除草等、畑の整備を行った。井口保育園児と5月にサツマイモの苗を植え、10月にサツマイモを収穫した。久しぶりの交流を通じ、保育園児、利用者共に笑顔に満ち溢れ、楽しい時間を共有することが出来た。

3) 季節を感じられるゆとりのある通所生活支援

月1回臨床美術の外部講師により季節を感じられ、利用者個々の能力を引き出した作品作りを行った。完成した作品をお互いに観賞し合い、褒め合っている姿も見られた。コロナが2類から5類に移行したことから、感染対策を講じながら、外部講師を依頼し、活動にメリハリをつけるよう取り組んだ。

コロナ感染防止対策を講じながら、バスハイクを実施した。窓越しに見える景色を楽しみながら、季節の移ろいを感じとった。普段、感情を表出しない利用者も手を叩いて喜びを表現したり、声に出したりして楽しんでいる様子が見られた。

昼食会を定期的に行い、外注先のメニュー表を見ながら、各自食べたい物を選んでもらった。色々な種類の総菜が盛られた豪華弁当による昼食会も実施した。

障害者支援施設 花椿あおぞら

1 実施事業

入所支援事業（30名）、生活介護事業（40名）、短期入所事業（併設型2床+空床型）、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 利用者の声に耳を傾け「自己選択」「自己決定」によるメニューの提供

コロナ感染防止に配慮し、集団での活動を休止しグループでの活動へと移行するように努めた。みどりの通りでは、個々に欲しい物品等を聞きとり、そのニーズに応じてそれらを準備し、手作りのお金で希望の物品等を購入する買い物の機会を設けた。目を輝かせながら自分の欲しい物を手に取る姿が見られた。はなの通りの昼食会で数種類から好きな弁当を選ぶ機会を設けたところ、満足そうに食事を楽しむ姿が見られた。また、言葉で意思疎通が難しい利用者の食事の様子を観察し、看護師、栄養士を交えた会議で情報共有し、個々に応じた食事の在り方（内容や量）について協議した。

意思決定研究会では、1年を通して、課題の多い一人の利用者をピックアップし、障害特性に応じた支援の在り方などを花椿全体の研修会で話し合った。マニュアルを作成して職員間で統一した支援が実施できるように努めた。

利用者が季節を感じられ、また、楽しめるよう、ホットケーキ、おはぎ、ポップコーン、コーヒーゼリー等おやつ作りの機会を提供した。

2) オール花椿（利用者職員全員参加）による商品づくりー販売を見込んだ計画的生産ー

井口地域、委託生産者と連絡を密に取り、ニンニク、黒豆の生育状況等を確認しながら収

穫や販売を行った。また、今年度は新たに、近隣の就労継続B型事業所より大根を購入できるようになったことから、計画的に大根のビール漬けを生産し、各方面で販売することができた。

梅干しは、職員誰もが関わられるようにマニュアルを作成し、工程を引き継いだことで、販売までの一連の流れがスムーズにできた。

黒豆作業は、昨年より作付け面積が拡大し収量が増えたこと、繁忙期にコロナ感染クラスターが発生したことにより、職員の確保が難しく、労働力が不足し担当職員の負担が増大した。対応策として感染予防も含め作業場所を分散すると共に、迅速に販売ができるようJAの協力を得て、選別機をお借りした。また出来上がった商品等は、旬菜市場ふくの里での委託販売や地域イベント等で職員が対面販売を行った。

3) 安定した通所サービス(活動プログラム)の提供

日頃から個室や、間仕切りを利用し、個々の日課に大きな変化を持たせず、落ち着いて活動ができるように努めた。職員不足から余裕がなく定期的な会議実施までには至らなかった。

外部講師を迎え、月1度臨床美術を実施した。楽しそうにダイナミックに描く様子が見られた。活動の流れにも慣れ、独創的で素敵な作品を作ることができ、家族からも好評であった。

多機能型事業所 花椿かがやき

1 実施事業

就労継続支援B型事業(17名)、生活介護事業(14名)

2 取り組み内容と評価

1) 安心・安全・安定した商品提供と新商品の開発

弁当製造については、旬菜市場ふくの里・法人内部事業所の他に、ロコミ等による一般企業からの注文もあり安定している。またPR活動において、現在SNSでの発信に向け整備中であり次年度も継続して積極的な周知活動を行っていく。

味噌製造については、寒仕込みを予定していたが、製造場所が離れていることで品質の安定と安全が保たれていないこと、職員の異動や配置により継承が難しいことから令和5年度をもって製造を中止するに至った。味噌の在庫については、法人内事業所・旬菜市場ふくの里(ふくの里については令和6年4月末まで)にて販売したのち、在庫がなくなり次第終了とした。

一方で、昨年末より自主製品に注力し、シルクスクリーンの技法を施したエコバック・巾着袋を、県庁生協・高岡市美術館にて販売している。また、年度末からは「とやまふおんど」(文字と絵のデータ化)を用いたマスキングテープやクリアファイルの製作を外注委託し、その製品の梱包、シール貼り等の工程を経て商品にすることで作業の充実を図ると共に、イベントでの販売等で工賃向上に繋げた。

2) 地域関係機関との連携を強化

取り組みであるアート活動を通して、作品展への出品を積極的に行った。9月は氷見市芸術文化館で開催された「のままがまま展」、10月は石川県音楽堂で開催された「全国障害者作品展」などに出品し、多くの来場者に作品を見て頂く機会となった。

また、cotaeネットワーク(富山県/石川県でアート活動を通じた社会参加に取り組む団体)の活動の一環であるグッズ作りに、利用者7名の作品が今後採用される予定である。

「とやまふおんと」については、12月の障害者週間に合わせて富山県庁正面入りロスペースをお借りし、約2か月間の展示期間を通して活動の周知を行った。

慣例の地元児童クラブとの交流会「八塚教室」では、自主製品で使用しているシルクスクリーンの技法を施したエコバックづくりを行い、好評を得ることができた。

奉仕活動としては、南砺市社会福祉協議会の依頼により「憩いのステーション縁の木」での装飾ボランティア、ドリンクサービスボランティアなどに取り組んだ。現在は、利用者の刺し子によるコースター制作を行っており、次年度のドリンクサービスでの使用を予定している。また地域のごみ拾い散歩も継続し、地域交流を図っている。

3) 利用者の活動の充実とQOL向上

QOLの向上については、運動機能の維持・向上を図るため、月に数回、生活介護・就労継続支援B型それぞれの事業の利用者合同で軽体操をおこなった。高齢者を対象に福野体育館での軽運動にも数回参加した。

その他の活動としては、月に一度、ばーと@とやまの米田氏を招いて「いいがの日」と名付けられたアート活動や地域の作品展を見学した。また前述の富山県庁入口のディスプレイ作品の見学では、県庁職員により庁舎や防災センターも案内を受けた。年末の慰労会時には、一年の活動を振り返り、新たな年に向けて意欲向上に繋げることができた。

ホームやつわ、ホームあやこ、ホームいするぎ

1 実施事業

共同生活援助事業（19名）

2 取り組み内容と評価

1) ホーム支援の充実

土日や祝祭日に職員がホーム支援に入り、衣類購入や理美容などの付き添いや送迎など目的に応じたグループ外出の機会を提供した。また、花見や初詣などの季節に応じた外出を実施し、余暇の充実を図った。コロナの類型変更に伴う外出制限の緩和後は、小矢部地区のスポーツ大会や防災訓練などの地域行事にも参加し、コロナ以前の生活に近づいている状態にある。

利用者が楽しみにしている外出や行事の予定表、献立表等を各ホームのホワイトボードに掲示することで、見通しをもって意欲的な生活できるよう取り組んだ。

2) 住みやすい環境の整備

転倒防止のため、ホームあやこの廊下に手すりを設置した。手すり設置後は、夜間等の転倒のリスクも減った。また、呼び出しチャイムを設置したり利用先のデイサービス職員からのアドバイスにより、下駄箱の位置を変えるなど、怪我無くホームで過ごせるよう環境を整えた。

経年劣化していたホームやつわの外塀の補修を行った。

ホーム柴田屋、ホーム柴田屋みなみ、ホーム庄川、ホーム庄川第2

1 実施事業

共同生活援助事業（23名）

2 取り組み内容と評価

1) 生活支援の充実と日中の支援体制の強化

1-1) 日中の見守り体制について検討する

体調不良や日中活動先での不応で、不規則に日中をホームで過ごす利用者の見守り体制について検討を行い、看護師による定期巡回やかがやき事業所兼務の生活支援職員が昼食の配達などを行うことで日中の見守りや状態の把握に努めた。利用者の体調については、コロナウイルス感染症やインフルエンザにより令和5年度は月平均25.5名が見守りの対象となった。ホームで過ごす利用者が増加し、兼務による限られた人員体制下で日中支援の充実を図るには至らなかった。

1-2) サービス管理責任者、生活支援員が定期的に巡回し、社会活動への参加や生活支援を行う。

サービス管理責任者が出退勤時間を調整しながら効率的な巡回支援を行ったことで、勤務時間外に偏重していた買い物付添などの同行支援をタイムリーに提供することが可能となった。

2) 高齢利用者の生活機能維持に向けた取り組みの拡充

2-1) 理学療法士など専門職との連携強化

理学療法士による研修会を開催し、職員10名、利用者7名がフレイル予防・健康寿命増進について学び、基本動作回復に向けた運動療法を日常生活のなかに取り入れた。また、救命・心肺蘇生講習会を職員が受講し、緊急対応について理解を深めると共にスキルを身に付けた。

日中サービス支援型ホームごみ

1 実施事業

共同生活援助事業（20名）、短期入所事業（2名）

2 取り組み内容と評価

1) 職員の介護技術習得、医療機関との連携

- ・職員の知識、技術を高め、重度高齢の利用者への質の高いサービスを提供する。

高齢化による疾病や機能低下を防ぐため、医師による訪問診療の頻度を月1回から2回に増やし、利用者の健康状態をより詳細に把握すると共に事業所との情報共有を強化することで、状態の変化に迅速かつ適切な対応ができるようになった。

訪問リハビリにおいては、個別リハビリに加えて、月2回の集団リハビリをADLリハビリと嚥下リハビリに目的を分けて実施したことにより、支援方法やアドバイスを受けながら、知識と支援スキルの向上を図った。

また、外部研修・オンライン研修・内部研修にて、リスクマネジメント、てんかん、介護用品の適切な使用や介護技術の伝達などを学び、理解を深めた。

2) 生活環境の整備・改善及び利用者活動の充実

- ・安心できる生活環境を整備し、活動の充実を図り、質の高いサービスを提供すると共に、職員の業務負担軽減を図る。

言語聴覚士や介護用品業者等と連携し、利用者個々の状態に応じたエアマット、クッション、車イス、歩行器、サイドテーブルの準備や食事等に使用する自助食器の見直しを行い、安心安全な生活を提供した。

紙おむつやパッド等の介護用品の使用においては、職員が適切な使い方を学び、利用者にあった性能・サイズ・種類など製品を選択し、利用者のストレス軽減や業務改善を図った。

また、利用者の体調に応じて適切に食事が提供できるよう、共用のサイドテーブルを準備し、床上での食事や活動、リビングでの食事時の補助テーブルなどに使用して、適宜環境の

整備を行った。

3) 業務環境等の改善

- ・環境を整備することによる業務の効率化、休憩スペースの確保等を行い、職員の負担やストレスの軽減を図る。

医務室を増設し、医薬品や書類の整理等、安全な管理ができるようになり、業務の効率化を図ることができた。

また、医務室の増設に伴い休憩スペースが確保でき、職員の心身への負担軽減が図られると共に、職員室内の書類や備品を整理し業務環境を整えることができた。

4) 重度・高齢者対応への職員体制づくり

- ・必要な専門職等の人的環境を整備し、ニーズに応えられるサービスを提供し、支援の充実を図る。併せて支援体制を整備し、安全面に配慮した質の高いサービスを提供する。

サービス管理責任者を専任配置することで業務体制を見直し、ニーズへの対応と支援の充実を図ったが、世話人や夜勤専任職員等の当初からの人手不足に加え、年度途中の退職等により、支援体制を整えるのに苦慮した。

また、利用者の高齢化に伴う機能低下や疾病等への対応のため、一定の期間に訪問看護サービスを利用し、休日における医療機関との連携を強化することで、利用者の健康管理に努めた。

年度途中より、生活支援員、夜勤専任職員、世話人等の補充ができたことで、徐々に支援体制を整えることができた。

放課後等デイサービス事業所きつずる一むクローバー

1 実施事業

放課後等デイサービス事業（10名）

2 取り組み内容と評価

1) プログラムの充実

これまでの外部講師に加え、令和5年度に茶道、音楽、工作ボランティアの3組がプログラムに参加いただき、活動と体験の幅が広がった。

令和5年6月からは、これまで見合わせていた買物や調理の活動回数を増やし、楽しみながら日常生活の充実を図った。また3月には「四季」をコンセプトとする防災啓発施設 四季防災館を訪れ、防災の学びと公共機関の利用体験を実施した。

利用者に対して、12月に人気の活動調査を実施した。人気の活動は、「公園へ行こう、体育館」、好きなおやつ作りメニューは、「パフェ、チョコバナナ」であった。人気のおやつ作りは、要望に応え1月・2月のプログラムに取り入れた。

2) 利用ニーズに合わせた今後の展望

11月に保護者向けに利用希望調査を実施し、利用ニーズと調整を図った。自宅までの送迎希望が多くあり、自宅送迎日を増加し対応した。土曜日の利用希望や8:00からの利用希望もあったが、現体制では対応が難しく今後の検討課題とした。

施設見学や、研修を通して放課後等デイサービス事業所の在り方や支援方法について職員が学びを深め、障害特性や施設設備について検討した。利用ニーズは高いものの人員体制や設備投資、運営面で課題があり、これまでの体制を維持しつつ職員の支援技術の向上を図ることとした。

放課後等デイサービス事業所きつずる一む ごとみ

1 実施事業

放課後等デイサービス事業（10名）

2 取り組み内容と評価

1) SSTを用いた支援

- ・社会的なルールやマナーを学ぶ。
- ・セルフコントロールを身につける。

SSTの目標はゲームや遊びを通じて暗黙の了解を身に付けることにあり、活動場面での言葉の使い方等への声掛けを通して話し合う機会を持つことはできたが、実際にそれを身に付けるまでには至らなかった。また、スタッフの想定劇後に、皆で良かったことや改善すべき点について話し合うこととしたが、準備に課題を要し、計画通りに実施できなかった。

一方で、絵や数字を使用して見えない気持ちや感覚を具体化することは、即座に実践でき、子供たちが成長した姿を見せた時は、その場で必ず褒めることで自信を高めることに繋がった。フィードバックへの対応については、SSTの技術を更に磨く必要がある。

2) 送迎の安全確保と充実を図る

- ・小矢部市内全域の送迎を可能にする。

新たに蟹谷小学校を加えることで、小矢部市内全ての小学校で送迎を可能とし、利便性の向上を図った。また、範囲の拡大に伴い、一層の安全面に配慮しながら送迎を実施した。

3) 活動場所の環境を整える

- ・利用者が安心・安全に活動参加できるよう配慮する。

熱中症対策として、こまめな水分補給や屋外活動に制限を加えた。冬季など室内での活動機会の増加に際し、高性能の空気清浄機を配置したり、利用者が安心して活動に参加できるようジョイントマットを準備することで、安心・安全な環境を整えた。新型コロナウイルスの5類感染症への移行後も感染防止対応を継続した。

4) 利用者リラクゼーションの時間を提供する

- ・スヌーズレンルームの有効活用

スヌーズレンルームを利用し、アロマの香りや音楽を楽しむなどリラックスする機会を提供した。更に、イベント（七夕やクリスマス会など）では、職員がパネルシアターを用意し、子供たちが話の内容を楽しむ事に加え、積極性、集中力、創造意欲が育成されるよう配慮しながら支援を行った。これらの活動や支援は、発達形成に効果的であったことから今後も継続して同様のプログラムを提供していくこととする。

障がい者サポートセンターきらり（相談系事業）

1 実施事業

障害者相談支援事業、指定一般相談支援事業、指定特定相談支援事業、障害児相談支援事業、障害児等療育支援事業

2 取り組み内容と評価

1) アセスメントの強化

緊急時での対応や本人の理解を深め希望する生活を支援していくために、障害児者のアセスメント様式を見直した。医療やサービス利用開始時に本人についての情報を適切に伝えていく為活用しやすいものにしていく。

2) 地域関係機関との連携強化

地域生活支援拠点等の整備の体制が整ってきたことから、担う機能の見直しを行い、地域の実情に合わせた体制を構築した。

主任相談支援専門員2名が、砺波圏域障害者基幹相談支援センターと協力し、個別ケア検討会での助言や圏域内の相談支援事業所を訪問して、指導等を行った。また、相談支援専門員協会の協力や相談支援従事者研修等において、講師やファシリテーターなどを務め、人材育成の強化を担った。

障がい者サポートセンターきらり（障害者就業・生活支援センター事業）

1 実施事業

障害者就業・生活支援センター事業

2 取り組み内容と評価

1) 就労アセスメントの強化

富山障害者職業センター主催の就労アセスメントの研修会に参加し、知識や技術の習得に努めた。日頃の相談や在職者交流会等を通して、本人の就業状況や生活状況のアセスメントを行い本人の理解を深めた。

2) 地域関係機関との連携を強化

連携が不可欠なハローワーク砺波や富山障害者職業センターとの連絡会議では、支援対象者の支援経過の共有や、困難ケースの対応についての意見交換等を行った。また、職場、就労支援機関、医療機関等の関係機関との情報共有を行い、本人への支援体制の構築を図った。

砺波圏域障害者基幹相談支援センター

1 実施事業

障害者基幹相談支援センター事業（砺波市、小矢部市、南砺市 3市委託事業）

2 取り組み内容と評価

1) 総合的・専門的な相談支援

障害者相談支援事業として、障害者またはその支援者等からの相談に応じるため相談窓口を設け、必要な援助及び専門機関の紹介を行った。また、総合的・専門的な相談支援として、障害のある人や家族、地域住民や関係機関から相談先等が分からない相談を障害の種別に関らず総合的に受ける窓口を設け、一緒に課題を検討し、相談支援事業所や行政に繋いだ。

2) 地域の相談支援体制の強化

圏域内の相談支援事業所に対する助言や情報交換・研修会の開催及び主任相談支援専門員による相談支援事業所訪問等を計画し、地域全体の支援力向上を目指すと共に、地域の福祉や医療・教育・就労等の関係機関との連携を図った。また、地域の社会資源に関する情報として、障害福祉サービス事業所ガイド、障害福祉サービス事業所一覧、サービス事業所紹介動画等の作成公開及び相談支援事業所・行政へ入居施設等空き情報、サービス利用者募集等情報を通知し、障害福祉サービスの利用促進に努めた。

3) 地域移行・地域定着の促進

病院や施設等から地域生活への移行を促し、地域での生活を定着させるための業務を行った。また、施設や病院から退所・退院し、地域での暮らしを希望する人の相談に応じ、地域で安心して暮らせるよう精神科病院との情報交換会を開催した。

4) 権利擁護・虐待防止に関する啓発

障害のある人や家族からの権利侵害（虐待等）に関する相談に応じ、成年後見制度や日常生活自立支援事業等の利用を促進すると共に、普及啓発のための業務を行った。また、令和4年度より全てのサービス事業所において、従事者への障害者虐待防止の研修が義務化されたことから、権利擁護・虐待防止委員会と連携して研修会を開催し、小規模な事業所の負担軽減と研修の促進を図った。

5) 自立支援協議会への参加協力

砺波地域障害者自立支援協議会の運営に協力するとともに、会議等へ参加した。令和3年度から運営会議の庶務、事業所連絡会の運営、権利擁護・虐待防止委員会の庶務等を担当し、令和5年度も同様に担った。また、当センターのホームページを活用し、協議会の情報公開に努めた。

6) 砺波圏域地域生活支援拠点等の整備への協力

砺波圏域における地域生活支援拠点等の整備に向けて、令和5年度において認定申請事前ヒヤリングに協力した。

7) その他の事業

基幹相談支援センター利用促進のため、機会を捉えてセンター事業を説明した。また、各種機関への協力として、委員会委員、協議会理事、研修ファシリテーター等を引き受けた。

Ⅲ 令和5年度 地域との関わり、貢献等

事業所	内容	参加者		実施数
		利用者	職員	
法人本部、 障がい者サポートセンターきらり 各事業所、 職員互助会、職員有志	能登半島地震被災地支援 被災施設（輪島市、能登町、金沢市） への職員派遣、 支援物資提供、義援金、被災利用者 受入登録	---	3名	延21日
溪明園めるへん	地域のゴミ拾い活動	6～7名	2名	5回
花椿きらめき、同あおぞら	地域のアルミ缶回収	3名	1名	週3回
花椿かがやき	南砺市社会福祉協議会ドリンクサービス	5名	1名	2回
	地域のゴミ拾い活動	3～4名	1名	月2、3回
	縁の木の展示活動	5～6名	1名	1回
	使用済み切手回収、選別	2名	1名	通年
	赤い羽根共同募金街頭募金活動	14名	4名	1回
	地域児童クラブ活動支援、交流	延7名	延4名	2回
きつずる一むクローバー	フードバンクとやまと連携した食品ロス削減活動	---	---	月4回
	地域体育館清掃	---	延4名	2回

IV 令和5年度 委員会等報告

	取組内容	成果	次年度へ提言
溪明園再整備準備室	<p>溪明園は老朽化が著しく修繕に多額の費用が見込まれる。居室は複数人部屋で、国が求める個室生活や少人数対応が出来ず、中山間地で地域との交流等が難しい。そこで、令和3年度より再整備委員会を組織した。令和5年11月に同準備室に格上げし、平地に新たな用地を取得し、移転改築する再整備計画を決定した。また、行政に資金援助を要望したが、老朽化による国庫補助金の要件を満たさず、他の改築趣旨による同補助金を目指すことにした。</p>	<p>検討の結果、国が障害者の重度・高齢化等を見据えた居住支援の機能を集約して障害者支援施設等に付加した多機能型地域生活支援拠点整備事業による溪明園再整備を計画した。</p> <p>小矢部市に第7次総合計画の後期実施計画における多機能型地域生活支援拠点整備事業として令和5年9月20日に提案したが、唐突時期尚早として見送られた。今後両方で協議を重ねていくこととなった。</p>	<p>法人が小矢部市との協議を進めるために、市が要求する事項に対する準備を始める。市が溪明園に求めるサービスは、検討して方針が決まれば法人経営計画に織り込む。また、用地取得の負担軽減及び用地費の縮小を図る複層階の施設計画、多機能型拠点の必要性、跡地の活用策（過疎化対策の協力を含む）の作成を進める。</p>
DX/BPR推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援記録等の新しい福祉ソフトの導入に向けて（現行ソフトの課題抽出及び導入候補ソフトのモニター） ・提案制度の実現に向けて（業務改善等の提案募集と整理） ・DX/BPRの取り組み（事業所の課題提起と整理） 	<p>前年度の内容を引き継いで日立システムズの利用者支援記録ソフト「福祉の森」の導入について現行ソフトの課題と併せて検討した。モニターの結果、機能面での評価が芳しくないことや経費が多額であることから導入を見送り保留することにした。</p> <p>提案制度については、各事業所で職員が意見を提案して次年度の取り組み体制を整えた。また、テーマを決めてアンケートを行い、DX/BPRの課題の選定を行った。</p>	<p>職員から提案のあったアイデアを形に変え、DX/BPRを推進し業務の効率化を目指す。</p>
BCP策定委員会	<p>BCPのひな形の作成 BCP研修の計画 緊急時の連絡手段の考案</p>	<p>BCPのひな形を作成し、法人全事業所のBCPが完成した。</p>	<p>BCPの研修を事業所に提案する。 感染経験や実践訓練を通して、随時BCPのひな形を更新する。 緊急時の連絡手段を確立する。</p>
虐待防止委員会	<p>令和5年度は、各事業所の権利擁護委員会報告（事故報告、ヒヤリハット報告、研修会参加状況、チェックシートの検証など）を中心に11回の虐待防止委員会を開催した。研修や厚生労働省情報について共有が図られた。</p>	<p>定期的な虐待防止委員会開催で体制が整いつつあり、虐待防止・権利擁護意識の向上が図られた。人権意識、知識や技術向上のための研修参加が増え、法人全体での虐待を未然に防ぐ意識が高まった。</p>	<p>継続的に虐待防止委員会を開催する。 事業所の事業内容や規模、職員構成に応じた、虐待防止及び支援技術向上研修計画の検討が必要である。</p>
手をつなぐとなみ野・溪明会連携協力会議	<p>研修部会：利用者を対象とした権利擁護研修会を開催。職員、行政を交え権利擁護について考えた。 地域連携部会：利用者の作品展示、販売を通して、地域への障害者理解啓発、両法人の連携を深める。</p>	<p>研修部会：利用者自身が自分の思いを言葉や文字にして伝えることができた。支援者はそれを受け止めることができた。利用者を理解することの大切さを再認識した。 地域連携部会：北陸銀行^ペ展は二年目に入り定着してきた。四季彩館で行われた福祉講演会で、^コ禍でしばらく出来なかった販売を行った。</p>	<p>研修部会：（アンケート結果から）災害時の避難方法研修、不適切な対応をする職員を対象とした研修、うまく意思表示できない利用者の意思の汲み取り方研修（意思決定支援研修）。 地域連携部会：北陸銀行^ペ展について、来年度についても同行に依頼してある。</p>

令和 5 年度
事業報告書 統計資料

社会福祉法人 溪明会

Ⅲ 令和5年度 溪明会 事業報告 統計等資料

法人本部

1 役員構成

名称、定員	氏名
理事 6～8名	宮西聡(理事長)、土山美由紀(常務理事)、中嶋明広(常務理事)、中山繁實、柳田由紀、福井靖人、村西更新
監事 2名	前川達夫、布目剛
評議員 7～9名	榊悟常、清澤百合子、山本真由美、尾崎順子、前田幸雄、梶井美恵子、高藤孝一、辻信明
評議員選任・ 解任委員 3名	前川達夫、福田秋美、長岡由洋
第三者委員 3名	水牧美耶子、渡邊美和子、原野敬司
顧問 若干名	穴田清、高嶋義則

※理事、評議員の上限定数に対して、各1名ずつ欠員

2 役員会開催状況

1) 理事会

開催	議決事項	
第1回 6月13日	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 議案第9号	障害者支援施設 花椿きらめき、花椿あおぞらの省エネ化改修工事について 障害者支援施設 溪明園からまつ、溪明園あすなるの再整備について 社会福祉法人 溪明会 理事候補者の推薦について 社会福祉法人 溪明会 監事候補者の推薦について 役員等の報酬に関する規程の一部改正(案)について 定款の一部改正(案)について 令和4年度 社会福祉法人 溪明会 事業報告について 令和4年度 社会福祉法人 溪明会 計算書類の認定について 令和5年度 社会福祉法人 溪明会 第1回評議員会の開催について
第2回 6月27日	議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第17号 議案第18号	社会福祉法人 溪明会 理事長の互選について 社会福祉法人 溪明会 常務理事の選任について 社会福祉法人 溪明会 評議員候補者の推薦について 社会福祉法人 溪明会 評議員選任・解任委員の選任について 社会福祉法人 溪明会 顧問の選任について 組織規程の一部改正について 給与規程の一部改正について エリアマネージャー等の任命について 運営規程の一部改正について
第3回 3月26日	報告第1号 報告第2号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号 議案第26号 議案第27号 報告	運営規程の一部改正について 社会福祉法人 溪明会 障害者支援施設花椿省エネ化改修工事施工業者の入札について 給与に関する見直しについて 経理規程の一部改正について 組織規程の一部改正について 運営規程の一部改正について 運営規程の職員配置員数変更の理事長専決化について 役員等賠償責任保険の加入及び法人の保険料負担について 令和6年度 社会福祉法人 溪明会 資金運用計画について 令和6年度 社会福祉法人 溪明会 事業計画について 令和6年度 社会福祉法人 溪明会 当初予算について 理事長執務状況報告

2) 評議員会

開催	議決事項	
第1回 6月27日	議案第1号 議案第2号	令和4年度 社会福祉法人 溪明会 事業報告について 令和4年度 社会福祉法人 溪明会 計算書類の認定について

議案第3号	社会福祉法人 溪明会 理事の選任について
議案第4号	社会福祉法人 溪明会 監事の選任について
議案第5号	役員等の報酬に関する規程の一部改正について
議案第6号	定款の一部改正について

3) 監事監査、評議員選任・解任委員会

開催	内容
監事監査 5月25日	令和4年度 事業監査
評議員選任・解任委員会 7月26日	社会福祉法人 溪明会 評議員の選任について

4) その他委員会、会議

開催	回数	内容
経営委員会	33回	事業報告、連絡調整 業務方針の決定 その他
運営委員会	12回	事業報告、連絡調整 業務方針の伝達 その他
職員採用試験	5回	試験結果による採否検討
資金運用委員会	10回	効率的な資金運用方法の協議 資金運用計画の策定 有効な投資商品の選定 投資商品の購入、売却

3 職員配置状況

年度末事業所別職員配置状況

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総計	(183)	(186)	(192)	(197)	(195)
職員(総合職)	---	---	---	---	(66)
職員(業務職)	---	---	---	---	(29)
職員	(64)	(64)	(68)	(68)	---
嘱託(一般職)	---	---	---	---	(7)
嘱託(業務職)	---	---	---	---	(8)
嘱託	(7)	(9)	(7)	(8)	---
臨時	(27)	(33)	(32)	(36)	---
パート	(72)	(72)	(78)	(79)	(79)
他	(13)	(8)	(7)	(6)	(6)

・職員の身分制度を見直し、有期雇用契約であった定年前の臨時職員を職員(業務職)に変更した。これにより定年まで雇用保証され、安定して働くことができるようになった。60歳を超える常勤職員は嘱託職員(一般職、業務職)とした。

4 収支、財務状況他

(単位：千円)

1) 事業活動収支

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	R5/R4比
障害福祉サービス収益	869,829	891,607	995,280	1,044,644	1,070,014	+2.4%
その他	39,898	66,690	58,693	61,066	63,589	+4.1%
サービス活動収益計①	909,727	958,297	1,053,973	1,105,710	1,133,603	+2.5%
人件費	591,577	620,639	675,145	695,792	704,788	+1.3%
事務費、事業費	217,256	280,783	259,925	265,873	274,901	+3.4%
その他	47,443	56,409	71,471	79,546	91,730	+15.3%
サービス活動費用計②	856,276	957,831	1,006,541	1,041,211	1,071,419	+2.9%
サービス活動増減差額③=①-②	53,451	466	47,432	64,499	62,184	-3.6%
その他増減差額④	299	6,200	-494	3,382	15,907	+370.3%
当期活動増減差額⑤=③+④	53,750	6,666	46,938	67,881	78,091	+15.0%

・障害福祉サービスは基本報酬以外の加算を着実に取得し収入の確保を図るが、一部の事業所では利用率の低下による影響がある。

・人件費は欠員へのタイムリーな補充が難しかったこともあり、前年比小幅な増に留まった。

・事務費、事業費は諸物価高騰の影響で、給食費、光熱費、燃料費の上昇、修繕費用の増により全体として増となっている。

・サービス活動収益、同費用のその他の増の要因の大きなものは、就労事業の収入および支出の増が影

響している。

- ・その他増減差額は、能登半島地震による被害の修繕の有無に関わらず保険金の支払いが約900万円あったことから、増となった。また資金運用によって得た利息・配当金及び評価益が前年比約100万円増の約600万円あった。
- ・能登半島地震の保険金を除いた場合、収支状況はほぼ昨年並みであり、当期活動増減差額が約7,800万円あることから、安定した経営状況であった。

2) 障害福祉サービス等事業費収入

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	R5/R4比
障害者支援施設 溪明園からまつ	154,861	141,379	140,564	153,656	158,056	+2.9%
障害者支援施設 溪明園あすなろ	158,005	158,657	147,886	154,277	167,595	+8.6%
障害者支援施設 花椿きらめき	147,798	151,083	160,026	163,991	159,321	-2.8%
障害者支援施設 花椿あおぞら	166,557	164,227	184,120	188,126	194,388	+3.3%
多機能型事業所 溪明園めるへん	42,631	40,117	41,444	40,166	42,017	+4.6%
多機能型事業所 花椿かがやき	60,661	45,070	42,316	50,446	57,381	+13.7%
ホームやつわ	38,868	40,885	44,217	45,862	47,257	+3.0%
ホーム柴田屋	50,854	56,497	58,678	60,908	61,659	+1.2%
日中サービス支援型ホームごごみ	--	33,209	92,672	93,725	93,728	+0.0%
放課後等デイサービス事業所 きつずるーむクローバー	16,313	17,913	25,344	25,792	23,945	-7.2%
放課後等デイサービス事業所 きつずるーむごごみ	--	--	13,424	24,588	19,344	-21.3%
障がい者サポートセンターきらり	33,281	42,570	44,589	43,107	45,323	+5.1%
計	869,829	891,607	995,280	1,044,644	1,070,014	+2.4%

- ・全体では前年度比2.4%増となった。
- ・溪明園あすなろは溪明園からまつからの利用者の転移により利用率、収入が増となった。溪明園からまつは定員に対する欠員分を補充できていないが、利用者増を図るため短期入所の体験利用を増加させた。また溪明園からまつの建物の特性上、これ以上男性利用者を増やすことができないが、問い合わせはほぼ男性の利用に関するものとなっている。
- ・花椿きらめきは利用者及び営業日の減により収入が減となった。花椿あおぞらは利用者の支援区分の重度化と加算を確実に得たことから増収となった。
- ・花椿かがやきは利用者の確保により利用率が増となり、大幅な増収となった。
- ・放課後等デイサービス事業所は必要な配置職員の関係もあり、利用率は低迷した。

3) 積立金

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	R5/R4比
人件費積立金	100,400	100,400	100,400	100,400	100,400	--
修繕費積立金	229,209	229,209	229,209	229,209	229,209	--
備品等購入積立産	47,382	20,100	20,100	20,100	20,100	--
建設積立金	655,748	365,729	366,291	269,832	273,708	+1.4%
工賃変動積立金	959	922	849	999	999	--
設備等整備積立金	3,771	3,771	3,102	4,339	4,578	+5.5%
積立金計	1,037,469	720,131	719,951	624,879	628,994	+0.7%

- ・資金運用の配当金等を積立金として積立を行った。
- ・当期資金収支差額薬4,100万円は積立をせず、流動資産として日常の運営資金とした。

4) 資金運用状況

種類	取扱先	商品名等	取扱日	投資額	状況	単位：円 損益
定期・普通預金	北陸銀行	預金利息	---	---	---	利息 +7,155
定期・普通預金	石動信用金庫	預金利息	---	---	---	利息 +39,608
普通預金	J A	預金利息	---	---	---	利息 +93
定期・普通預金	大和ネクスト銀行	預金利息	---	---	---	利息 +1,433
クレジット債	大和証券	ソフトバンクグループ債	R4.9.28	100,000,000	R6.1.10期限前償還	元本 0 配当 +1,698,889
クレジット債	大和証券	クレディスイズ債券	R5.2.1	100,000,000	R5.6.29売却	元本 -40,000 配当 +431,666
F A債	大和証券	楽天グループ社債	R5.3.2	96,118,287	※保有(R7.12.2償還予定)	元本 +2,193,746 配当 +872,223
種類株式	野村証券	ソフトバンク	R5.11.1	100,000,000	※保有(R10.10.31売却予定)	元本 -250,000 配当 +1,041,667

劣後債	大和証券	ダイワハウス	R6. 2. 29 100, 202, 739 ※保有(R6. 9. 25償還予定)	元本 配当	0 +4, 167
-----	------	--------	--	----------	--------------

※は令和6年3月末時点で保有する運用資産 計 296, 321, 026 円

計	元本	+1, 903, 746
	配当、利息	+4, 096, 901
	総計	+6, 000, 647

5) 整備事業、修繕等(1, 000千円以上)

内容	事業所	金額
キュービクル更新工事	溪明園	14, 080 千円
エレベータ更新工事	溪明園からまつ	18, 040 千円
眠りSCAN、同通信環境整備	溪明園あすなろ	1, 856 千円
菓子工房用食器洗浄機	溪明園めるへん	1, 027 千円
省エネ化改修工事(前払金他)	花椿	37, 960 千円
みどりの通りトイレ改修工事	花椿	15, 869 千円
構内舗装工事	花椿	1, 567 千円
非常放送設備本体機器取替	花椿	3, 960 千円

5 その他

1) 年度状況

- 4月 職員身分を見直し、区分を新設。旧職員は職員(総合職)、60歳未満の臨時職員は職員(業務職)旧嘱託職員は嘱託職員(一般職)、60歳以上の臨時職員は嘱託職員(業務職)とした。
療養見舞金の創設
事務職員給与表の改正
花椿かがやきの利用者の“トトふおんと”をラベルに用いた日本酒が魚津酒造より販売される。
- 6月 花椿かがやきの利用者作品の“とやまふおんと”を用いた錫100%製のキーホルダーが(株)能登の協力により完成する。
高嶋義則理事長が退任し顧問に就任、宮西聡常務理事が理事長に就任する。
- 7月 豪雨による道路寸断で溪明園が一時孤立状態となる。敷地内土砂崩れ等が発生する。
- 11月 溪明園再整備準備委員会を溪明園再整備準備室とする。
ボランティア団体「おいものサラダ」(花椿かがやき)が南砺市社会福祉協議会会長表彰される。
- 1月 能登半島地震により複数の事業所建物に亀裂等が発生する。利用者の被害無し。
2月 花椿省エネ化改修工事開始
3月 石動駅構内“喫茶ルリアン”の営業終了。
花椿かがやきの味噌製造販売を終了。

2) 能登半島地震について

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の状況

(1) 被害状況

所在	事業所	被害状況
小矢部市	障害者支援施設 溪明園	ボイラー室の貯湯槽配管水漏れ、電柱トランスバンド切れ、フェンス傾き増加(地盤沈下)、他天井ボード破損複数
	ホームあやこ	ブロック塀上部落下・傾く、玄関段差破損、基礎亀裂、液状化(ホームいすぎ含)
	ホームごごみ	照明・スプリンクラーヘッド落下、プリンタ他機器落下、壁・天井・駐車場他亀裂
南砺市	障害者支援施設 花椿	水道管破裂、外壁・内壁他亀裂、スプリンクラーヘッド破損、非常灯破損他

事業所利用者の被害は無し。

職員1名が輪島市へ帰省中に被災し、死亡。

修繕費用総額(未着工含む) 4, 181, 760円

建物保険金支払い 9, 612, 500円

(2) 支援状況

月日	項目	内容
1/5	物資支援	法人内事業所から水、食料他を集め、石川県知的障害者福祉協会を通して供出。
1/12	被災障害者受入登録	被災した障害者の受入れ可能者数として花椿で女性2名(場所と食事のみであれば10~20名の受入)、ホーム柴田屋で男性1名を窓口である日本知的障害者福祉協会、同県へ登録した。 受入要請は年度末時点で無し。
1/27~31	職員の派遣	富山県知的障害者福祉協会からの要請により被災地支援に男性職員1名を派遣。

2/22	義援金	義援金209,500円を送金。
3/23～3/27	職員の派遣	富山県知的障害者福祉協会からの要請により被災地支援に女性職員1名を派遣。
3/27～3/31	職員の派遣	富山県知的障害者福祉協会からの要請により被災地支援に女性職員1名を派遣。

3) 新型コロナウイルス感染症対応

(1) 感染者(利用者5人以上)

事業所	対応期間	利用者 感染者数	内入院他	左期間 職員感染者数
日中サービス支援型ホームごごみ	5/12～ 5/24	9人	0人	2人
障害者支援施設 花椿あおぞら	11/30～12/10	11人	0人	2人
障害者支援施設 溪明園からまつ	1/15～ 1/27	23人	0人	2人
多機能型事業所 溪明園めるへん (内ホームやつわ、あやこ、いするぎ)	1/22～ 1/29	6人 (3人)	0人	0人
障害者支援施設 溪明園あすなろ	2/24～ 3/18	14人	0人	4人

(2) 対応費用

総額：2,767,310円

感染対策費用：1,108,238円(感染予防消耗品、消毒用薬品他)

職員宿泊費用：316,400円(小矢部サイクリングターミナル、ホテルパークイン砺波、ビジネスホテルAsani壱番館)

職員手当等：1,342,672円

○コロナ関係費用富山県補助金額 2,234,000円

障害者支援施設 溪明園からまつ、障害者支援施設 溪明園あすなろ

1 職員研修 (単位：回)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
外部研修	25	22	26
内部研修	7	6	10
自己啓発研修	0	0	2

2 来園者

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
見学	2団体(個人)	0団体(個人)	0団体(個人)6名
ボランティア	2団体(個人)、37名	2団体(個人)、21名	4団体(個人)、5名
実習生			
大学	0人	0人	1人
短期大学	0人	6人	3人
専門学校	0人	0人	0人
高校	0人	0人	0人

3 利用者の状況

1) 在籍状況 (単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用
溪明園からまつ												
施設入所	40	2/1	36	35.6	40	2/3	35	34.9	40	3/5	33	33.4
生活介護	40	2/1	38	35.5	40	2/3	35	34.8	40	3/5	33	33.5
溪明園あすなろ												
施設入所	30	2/3	28	26.8	30	2/1	29	27.3	30	3/2	30	28.5
生活介護	30	2/3	29	27	30	2/2	29	27.2	30	3/2	30	28.5

2) 手帳等状況 (年度末) (単位：人)

	令和3年度					令和4年度					令和5年度				
	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分
	A	B				A	B				A	B			
溪明園からまつ															
施設入所	19	16	1	3	--	18	16	1	3	--	18	14	1	3	--
生活介護	21	16	1	3	4.1	18	16	1	3	4.1	18	14	1	3	4.3
溪明園あすなろ															
施設入所	26	2	0	5	--	26	3	0	4	--	25	5	0	5	--
生活介護	27	2	0	5	5.2	26	3	0	4	5.2	25	5	0	5	5.2

3) 出身地の状況 (年度末) (単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
溪明園からまつ												
施設入所	7	9	4	16	7	8	4	16	7	6	4	16
生活介護	7	12	4	16	7	8	4	16	7	6	4	16
溪明園あすなろ												
施設入所	7	6	3	12	7	7	4	11	7	7	5	11
生活介護	7	7	3	12	7	7	4	11	7	7	5	11

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在) (単位:人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)
溪明園からまつ												
施設入所計	1	25	10	54	0	23	12	56.4	0	25	8	53.1
(男)	(1)	(16)	(6)	(54)	(0)	(15)	(7)	(56)	(0)	(17)	(5)	(54)
(女)	(0)	(9)	(4)	(54)	(0)	(8)	(5)	(58)	(0)	(8)	(3)	(52)
生活介護	1	27	10	53	0	23	12	56.4	0	25	8	53.1
(男)	(1)	(17)	(6)	(53)	(0)	(15)	(7)	(56)	(0)	(17)	(5)	(54)
(女)	(0)	(10)	(4)	(52)	(0)	(8)	(5)	(58)	(0)	(6)	(3)	(52)
溪明園あすなる												
施設入所計	1	22	5	49	0	25	4	48.7	0	24	6	52.4
(男)	(0)	(14)	(1)	(44)	(0)	(15)	(1)	(46)	(0)	(15)	(1)	(47)
(女)	(1)	(8)	(4)	(55)	(0)	(10)	(3)	(53)	(0)	(9)	(5)	(59)
生活介護	1	23	5	49	0	25	4	48.7	0	24	6	52.4
(男)	(0)	(14)	(1)	(44)	(0)	(15)	(1)	(46)	(0)	(15)	(1)	(47)
(女)	(1)	(9)	(4)	(55)	(0)	(10)	(3)	(53)	(0)	(9)	(5)	(59)

5) 短期入所及び日中一時支援事業利用延べ数 (単位:人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
溪明園からまつ			
短期入所	35	30	194
日中一時	0	0	0
溪明園あすなる			
短期入所	109	11	0
日中一時	0	0	0

4 行事・余暇支援等の実施状況

1) 主だった行事等の状況

活動内容	外出先
利用者旅行	9～11月: 魚津ミュージアム、白山白川郷、能登・七尾方面
保護者会旅行	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
夏祭り (コロナ禍につき代替行事)	8/31夏祭り (保護者会助成)
ふれあい育成スポーツ大会 (コロナ禍につき代替行事)	9/21園内スポーツ大会 (ふれスポ助成)
溪明園祭 (コロナ禍につき代替行事)	11/21ミニ溪明園祭
餅つき大会	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
そば会食	12/22園内で実施
厄払い (コロナ禍につき代替行事)	1/30神社厄払い

その他 定例行事等

面会日	月1回第2日曜日の面会日はコロナ感染防止の為中止(原則月1回保護者会役員との情報交換開催)
家庭交流日	月1回の家庭交流日はコロナ感染防止の為中止

2) 余暇支援等の状況

余暇支援プログラム	開催状況	備考
音楽療法	月2回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
臨床美術	月1回	8/1、9/22、10/24、11/30、12/21の年5回実施
3B体操	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
レクリエーション	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
絵画クラブ	不定期	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
茶道クラブ	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
喫茶	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止

5 日中活動の状況について
班別活動内容

グループ名	人数	製品・商品等	活動内容	発注業者	備考
溪明園からまつ					
リサイクル班	15	リサイクル作業	アルミ缶潰し、花壇整備	—	小矢部市内等回収
軽運動班	15	軽運動・創作活動	ウォーキング、体操、ぬり絵、貼り絵、作品作り	—	—
洗濯班	3	洗濯作業	洗濯に関する一連の作業	—	—
溪明園あすなる					
リサイクル班	6	リサイクル作業 リサイクル品（アルミ缶、スチール缶、ダンボール古紙、ペットボトル）	空缶回収、空缶潰し（アルミ、スチール）、古紙ペットボトル等回収	—	小矢部市内等回収
	10	リサイクル作業、ウォーキング、個別活動他	空缶、古紙、ペットボトル回収、ウォーキング、軽運動、ぬり絵、貼り絵 他	—	小矢部市内等回収
ひだまり班	10	個別活動、軽運動	介護予防体操（軽体操）、レクリエーション、ぬり絵、貼り絵 他	—	—
ウォーキング班	4	ウォーキング、装飾活動、個別活動	ウォーキング、軽運動、装飾活動 他	—	—

6 保健・給食関連状況

1) 健診等実施状況

嘱託医（精神科・内科）定期健診の他 健康診断、インフルエンザ予防接種
肺炎球菌ワクチン（対象者に限定）、節目年齢歯科健診
新型コロナウイルスワクチン接種

2) 給食関連状況

対応食

(単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	糖尿病	高血圧	肝臓病	常時粥	糖尿病	高血圧	肝臓病	常時粥	糖尿病	高血圧	肝臓病	常時粥
溪明園からまつ	1	1	0	2	1	0	0	3	1	0	0	5
溪明園あすなる	0	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	5

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	とろみ	きざみ	魚骨抜き	とろみ	きざみ	魚骨抜き	とろみ	きざみ	魚骨抜き
溪明園からまつ									
施設入所	0	7	全食	1	8	全食	1	10	全食
生活介護	0	7	全食	1	8	全食	1	10	全食
溪明園あすなる									
施設入所	0	5	全食	0	5	全食	3	11	全食
生活介護	0	5	全食	0	5	全食	3	11	全食

7 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

火災避難訓練 2 回 土砂災害避難訓練 0 回
不審者対応訓練 0 回

多機能型事業所 溪明園めるへん

1 職員研修 (単位：回)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
外部研修	14	13	15
内部研修	4	3	4
自己啓発研修	0	0	0

2 来園者

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
見学	4団体(個人)	4団体(個人)	4団体(個人)
ボランティア	0団体(個人)	0団体(個人)	1団体(個人)
実習生			
大学	0人	1人	0人
短期大学	0人	0人	0人
専門学校	0人	0人	0人
高校	1人	2人	2人

3 利用者の状況

1) 在籍状況 (単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用
生活介護	7	1/0	9	6.9	7	0/0	9	6.5	7	0/0	9	6.8
就労継続支援B型	13	0/1	12	11.8	13	1/0	13	11.8	13	0/1	12	12.2

2) 手帳等状況 (年度末) (単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度						
	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分
	A	B				A	B				A	B			
生活介護	7	2	0	3	4.4	7	2	0	3	4.6	7	2	0	3	4.6
就労継続支援B型	3	9	0	1	--	3	10	0	1	--	5	7	0	1	--

3) 出身地の状況 (年度末) (単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
生活介護	0	5	3	1	0	5	3	1	0	5	3	1
就労継続支援B型	2	4	5	1	2	5	5	1	2	5	4	1

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末) (単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)
生活介護 計	0	7	2	45	0	7	2	46	0	7	2	47
(男)	(0)	(4)	(2)	(51)	(0)	(4)	(2)	(52)	(0)	(4)	(2)	(53)
(女)	(0)	(3)	(0)	(34)	(0)	(3)	(0)	(35)	(0)	(3)	(0)	(36)
就労継続支援B型 計	0	9	3	48	1	9	3	47	1	8	3	47
(男)	(0)	(6)	(0)	(40)	(0)	(6)	(0)	(41)	(0)	(5)	(0)	(41)
(女)	(0)	(3)	(3)	(56)	(1)	(3)	(3)	(52)	(1)	(3)	(3)	(52)

5) 日中一時支援事業利用延べ数 (単位：人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ利用者数	70	50	60

4 行事・余暇支援等の実施状況

主だった行事等の状況

活動内容	外出先
ごみゼロ運動	小矢部市内
小矢部市障害者スポーツ大会	クロスランドおやべ
利用者旅行1	魚津市方面
利用者旅行2	ファミリーパーク
小矢部市障害者団体防災訓練	大谷中学校
ユカ・コーラ工場見学	砺波市内

その他 定例行事等

開所日	10回
リズム体操教室	4回
ヨガ教室	10回
綾子地区ゴミ拾い活動	5回

5 日中活動の状況について

班別活動内容

グループ名	人数	製品・商品等	活動内容	発注業者	備考
生活介護	9	装飾品・貼り絵・ビーズ	地域清掃（ゴミ拾い）ウォーキング・おやつ作り・装飾品・ビーズ等作成 個別活動（刺子、学習等）	—	—
就労継続支援B型	13	クッキー・パン・焼菓子他 ボール洗浄、清掃	パン・焼菓子等製造、同店舗及び外部販売、ボール洗浄、清掃業務	店舗、ルリアン（石動駅）、小矢部、砺波、南砺各事業所 各種イベント 道の駅小矢部、小矢部土木事務所、石動駅	店舗販売（メルヘン、ルリアン）、イベント販売（直販・委託・移動）、道の駅、旬菜市場ふくの里

6 保健関連状況

健診等実施状況

健康診断、インフルエンザ予防接種、新型コロナワクチン接種を実施

7 防災避難訓練等実施状況(令和3年度)

避難訓練実施状況 火災避難訓練 2回 消火訓練 2回

障害者支援施設 花椿きらめき、障害者支援施設 花椿あおぞら

1 職員研修

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
外部研修	20回	31回	21回
内部研修	24回	7回	11回
自己啓発研修	1回	0回	0回

2 来園者

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
見学	9個人	0団体(個人)、10個人	2団体(個人)、6個人
ボランティア	1団体	1団体	1団体
実習生			
大学	0人	0人	0人
短期大学	0人	2人	1人
専門学校	0人	0人	1人
高校	3人	5人	4人

3 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用
花椿きらめき												
施設入所	30	2/2	30	30	30	2/2	30	29.1	30	2/2	29	29.1
生活介護	40	2/1	39	36.5	40	4/3	39	35.7	40	2/2	38	35.2
花椿あおぞら												
施設入所	30	0/0	30	30	30	2/2	30	29.6	30	1/1	30	29.7
生活介護	30	0/0	40	37.4	40	3/4	38	36.2	40	2/1	39	36.3

2) 手帳等状況 (年度末)

(単位：人)

	令和3年度					令和4年度					令和5年度				
	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分
	A	B				A	B				A	B			
花椿きらめき															
施設入所	24	5	1	4	--	24	5	1	3	--	24	4	1	3	--
生活介護	29	9	1	5	4.6	31	7	1	4	4.7	30	7	1	4	4.7
花椿あおぞら															
施設入所	28	1	1	3	--	28	1	1	3	--	27	2	1	3	--
生活介護	36	3	1	3	5	34	3	1	3	5	35	3	1	3	5.5

3) 出身地の状況 (年度末)

(単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
花椿きらめき												
施設入所	7	4	9	10	7	4	8	11	7	3	8	11
生活介護	10	4	15	10	9	4	15	11	9	3	15	11
花椿あおぞら												
施設入所	9	1	15	5	8	1	14	7	9	1	14	6
生活介護	12	3	20	5	11	2	19	7	12	3	18	6

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在) (単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)
花椿きらめき												
施設入所計	0	25	5	45	0	25	5	47	1	26	2	43
(男)	(0)	(25)	(5)	(45)	(0)	(25)	(5)	(47)	(1)	(26)	(2)	(43)
(女)	(0)	(0)	(0)	--	(0)	(0)	(0)	--	(0)	(0)	(0)	--
生活介護	0	33	6	43	0	34	5	43	1	35	2	42
(男)	(0)	(32)	(6)	(43)	(0)	(32)	(5)	(43)	(1)	(33)	(2)	(41)
(女)	(0)	(1)	(0)	(43)	(0)	(2)	(0)	(43)	(0)	(2)	(0)	(44)
花椿あおぞら												
施設入所計	1	26	3	43	1	26	3	43	2	25	3	42
(男)	(1)	(14)	(0)	(39)	(1)	(14)	(0)	(37)	(2)	(13)	(0)	(36)
(女)	(0)	(12)	(3)	(48)	(0)	(12)	(3)	(48)	(0)	(12)	(3)	(49)
生活介護	1	36	3	40	1	34	3	40	2	34	3	40
(男)	(1)	(19)	(0)	(36)	(1)	(19)	(0)	(35)	(2)	(18)	(0)	(34)
(女)	(0)	(17)	(3)	(44)	(0)	(15)	(3)	(46)	(0)	(16)	(3)	(56)

5) 短期入所及び日中一時支援事業利用延べ数 (単位：人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
花椿きらめき			
短期入所	168	137	33
日中一時	6	93	4
花椿あおぞら			
短期入所	0	67	26
日中一時	213	200	221

4 行事・余暇支援等の実施状況

1) 主だった行事等の状況

活動内容	外出先
スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドin花椿	コロナウイルス感染拡大防止の為に中止
井口夏祭り	コロナウイルス感染拡大防止の為に中止
城端曳山祭り・むぎや祭り	コロナウイルス感染拡大防止の為に中止
花椿祭	コロナウイルス感染拡大防止の為に中止
溪明園祭	コロナウイルス感染拡大防止の為に中止
福野歳の大手	コロナウイルス感染拡大防止の為に中止

その他 定例行事等

来所日	無し(原則月1回保護者会役員との情報交換開催)
開所日	月1～3回程度

2) 余暇支援等の状況

余暇支援プログラム	開催状況	備考
臨床美術	月1回	
軽運動	月1回	
鳴子deダンス	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為に中止
エアロビクス	年1回	コロナウイルス感染拡大防止の為に中止
花椿カフェ	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為に中止
セラピードック	年1回	
理美容	適宜	
外出(買物・入浴・飲食等)	適宜	
リトミック	月1回	

5 日中活動の状況について
班別活動内容

グループ名	人数	製品・商品等	活動内容	発注業者	備考
障害者支援施設 花椿きらめき					
環境整備	11	アルミ缶 個別活動による作品（折り紙等）	資源回収・清掃・運動・散歩・レク体操・バスハイク・お茶会・おやつ作り、ポッチャ、ペガーボール等	林商店 ハリタ金 属	重度・中軽度 利用者
資源再生	7	アルミ缶 個別活動による作品（折り紙等）	アルミ缶プレス・清掃・運動・散歩・レク体操・バスハイク・お茶会・おやつ作り、ポッチャ、ペガーボール、畑作業等	—	重度自閉症・ 行動障害利用 者
芸術	12	個別活動による作品（貼り絵等）	個別活動（編み物・塗り絵・パズル・音楽鑑賞・DVD鑑賞等）・レク体操・散歩・ポッチャ・ペガーボール	—	高齢利用者・ 中軽度自閉症 利用者
通所	9	個別活動による作品（貼り絵、壁装飾等）	軽運動・畑作業・ほっとあつとなんと体操・刺し子・装飾品作り・貼り絵・レク体操・バスハイク・お茶会・おやつ作りなど	—	高齢利用者・ 重度・中軽度 自閉症利用者
障害者支援施設 花椿あおぞら					
みどり	15	黒豆・黒にんにく 乾燥にんにく・漬物 加工品	黒豆生産・加工・販売 にんにく加工・販売	ふくの里 委託販売	重度・中軽度 利用者（行動 障害利用者）
		個別活動による作品（貼り絵、壁飾り等）	洗濯たたみ・環境美化 散歩・創作活動・貼り絵 体操・バスハイク・お茶会 おやつ作り・自立課題	職員販売 イベント 販売	
はな	15	個別活動・散歩・ポチ袋 新聞紙袋製作・原木しい たけ栽培、にんにく、黒 豆作業手伝い	環境美化・散歩 バスハイク・体力作り 自立課題・おやつ作り等	—	重度・中軽度 利用者（行動 障害・自閉症 利用者）
通所	10	個別活動による作品（貼り絵、壁装飾等）	刺し子・装飾品作り・貼り絵・散歩・レク体操・バスハイク・お茶会・おやつ作り等、自立課題	—	重度・中軽度 利用者（行動 障害利用者）

6 保健・給食関連状況

1) 健診等実施状況

嘱託医定期健診（1回/月）の他 健康診断、インフルエンザ予防接種、歯科訪問診療を実施
新型コロナワクチン接種（きらめき事業所6回接種済み、あおぞら事業所：はな6回・みどり7回接種済み）

2) 給食関連状況

対応食

（単位：人）

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	とろみ	きざみ	魚骨 抜き	とろみ	きざみ	魚骨 抜き	とろみ	きざみ	魚骨 抜き
花椿きらめき									
施設入所	2	8	--	1	7	--	1	5	--
生活介護	2	8	--	1	7	--	1	5	--
花椿あおぞら									
施設入所	2	12	--	3	11	--	5	13	--
生活介護	2	13	--	3	11	--	5	13	--

7 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

火災避難訓練 2 回

多機能型事業所 花椿かがやき

1 職員研修 (単位：回)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
外部研修	15	11	22
内部研修	3	5	7
自己啓発研修	0	0	0

2 来園者

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
見学	9団体(個人)	8団体(個人)	3団体(個人)
ボランティア	0団体(個人)	0団体(個人)	0団体(個人)
実習生			
大学	1人	2人	0人
短期大学	1人	2人	3人
専門学校	0人	0人	0人
高校	3人	0人	3人

3 利用者の状況

1) 在籍状況 (単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用
生活介護	14	1/3	12	11.7	14	1/0	13	11.5	14	0/0	14	12.8
就労継続支援B型	17	3/1	14	12.8	17	4/0	18	15	17	0/0	18	16.3
就労定着支援	6	--	1	2	0	--	0	0	0	--	0	0

2) 手帳等状況 (年度末) (単位：人)

	令和3年度					令和4年度					令和5年度				
	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分
	A	B				A	B				A	B			
生活介護	7	5	1	1	3.6	7	5	1	1	3.8	7	5	1	1	3.9
就労継続支援B型	2	12	1	1	--	2	15	1	1	--	2	15	1	1	--

3) 出身地の状況 (年度末) (単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
生活介護	2	1	9	0	2	1	10	0	2	1	11	0
就労継続支援B型	6	2	6	0	7	2	9	0	6	2	10	0

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在) (単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)
生活介護 計	0	11	1	38	0	12	1	38	2	9	1	36.7
(男)	(0)	(6)	(1)	(37)	(0)	(6)	(1)	(38)	(1)	(4)	(1)	(48)
(女)	(0)	(5)	(0)	(40)	(0)	(6)	(0)	(38)	(1)	(5)	(0)	(38)
就労継続支援B型 計	0	10	4	48	1	12	5	48	0	13	5	48.1
(男)	(0)	(6)	(4)	(54)	(1)	(8)	(5)	(51)	(0)	(9)	(5)	(52)
(女)	(0)	(4)	(0)	(38)	(0)	(4)	(0)	(35)	(0)	(4)	(0)	(35)

5) 日中一時支援事業他利用延べ数

(単位：人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
日中一時支援	256	285	302
移動支援	4	0	0
居宅介護	3	0	0
行動援護	0	0	0

4 行事・余暇支援等の実施状況

主だった行事等の状況

活動内容	外出先
八塚地区児童クラブとの交流会	八塚公民館
利用者旅行	魚津方面/氷見方面2班編成で実施
縁の木ボランティア、古切手収集	南砺市社会福祉協議会井波支所/南砺つばき学舎
開所日(各月1～2回)	かがやき事業所/南砺市内
ばーと◎とやま主催:cotaeネットワーク(商品開発/販売)	富山障害者芸術活動普及支援センターばーど@とやま/高岡市美術館
全国障害者作品展	石川県音楽堂
のままとがまま展	氷見市芸術文館
富山県庁見学ツアー	富山県庁
かがやき慰労会	やまぶき荘
ご当地フロント	かがやき事業所

その他 定例行事等

ヨガ教室	月1回
リズム体操	月1回
保護者個別面談	2回(9月・3月)
工賃支給スペシャルおやつデイ	月1回

5 日中活動の状況について

班別活動内容

グループ名	人数	製品・商品等	活動内容	発注業者	備考
生活介護	14	布製品、手芸品、雑貨	ボランティア活動、創作活動、セルフ協販売、地域交流活動	--	--
就労継続支援B型	18	キッチンかがやき弁当、シルクスクリーンエコバック等、味噌	企業内実習、チューリップ球根除根、さといも作業、内職作業、味噌販売、弁当製造、他店舗販売、野菜収穫	--	--

6 保健・給食関連状況

健康診断等実施状況

健康診断、インフルエンザ予防接種、コロナワクチン接種実施

7 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

火災避難訓練 2 回

グループホーム

ホームやつわ(ホームあやこ、ホームいするぎ)
 ホーム柴田屋(ホーム柴田屋みなみ、ホーム庄川、ホーム庄川第2)
 日中サービス支援型ホームごごみ

1 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数
ホームやつわ	19	3/0	18	17.2	19	0/0	18	18.0	19	0/2	16	17.3
ホーム柴田屋	23	2/3	22	22.1	23	2/3	21	22.1	23	1/0	22	21.9
ホームごごみ	20	4/1	19	18.4	20	1/2	18	17.7	20	1/2	17	17.5

2) 手帳等状況 (年度末)

(単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	療育 手帳		身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分
	A	B			A	B			A	B		
ホームやつわ	4	14	2	2.8	4	14	2	2.8	6	10	2	2.8
ホーム柴田屋	2	17	2	3.2	2	17	2	3.2	2	17	2	3.3
ホームごごみ	11	7	5	4.8	9	7	5	5	10	7	4	4.8

3) 出身地の状況 (年度末)

(単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
ホームやつわ	2	4	10	2	2	4	10	2	2	4	8	2
ホーム柴田屋	8	2	11	1	7	3	10	1	8	3	10	1
ホームごごみ	4	6	6	3	4	5	7	2	2	6	7	2

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在)

(単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	21歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	21歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)
ホームやつわ	0	12	6	54.5	0	12	6	55.5	0	9	7	59
(男)	(0)	(6)	(2)	--	(0)	(6)	(2)	--	(0)	(4)	(2)	--
(女)	(0)	(6)	(4)	--	(0)	(6)	(4)	--	(0)	(5)	(5)	--
ホーム柴田屋	0	16	6	53.5	0	14	7	54	0	15	7	54.7
(男)	(0)	(10)	(6)	--	(0)	(6)	(7)	--	(0)	(9)	(7)	--
(女)	(0)	(6)	(0)	--	(0)	(6)	(0)	--	(0)	(6)	(0)	--
ホームごごみ	0	4	15	69.3	0	5	13	68.6	0	3	14	69.9
(男)	(0)	(2)	(7)	--	(0)	(3)	(6)	--	(0)	(2)	(7)	--
(女)	(0)	(2)	(8)	--	(0)	(2)	(7)	--	(0)	(1)	(7)	--

2 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

ホームやつわ (やつわ、あやこ、いするぎ)	火災避難訓練 住居各各1回	水害避難訓練 ---
ホーム柴田屋 (柴田屋、柴田屋みなみ、庄川、庄川第2)	住居各各2回	ホーム柴田屋1回
ホームごごみ	2回	

放課後等デイサービス事業所 きつずるーむクローバー

1 職員研修

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
外部研修	6回	11回	11回/オンライン46回
内部研修	2回	2回	2回
自己啓発研修	0回	0回	0回

2 来園者

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
見学	18団体(個人)	17団体(個人)	17団体(個人)
ボランティア	4団体(個人)	3団体(個人)	6団体(個人)
実習生			
大学	0人	1人	0人
短期大学	0人	0人	1人
専門学校	0人	0人	0人
高校	0人	0人	0人

3 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数
在籍状況	10	--	32	10.7	10	--	32	10.7	10	--	32	10.1

2) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在)

(単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他
計	24	7	1	0	26	5	1	0	27	5	0	0
(男)	(18)	(5)	(1)	(0)	(20)	(5)	(0)	(0)	(21)	(4)	(0)	(0)
(女)	(6)	(2)	(0)	(0)	(6)	(0)	(1)	(0)	(6)	(1)	(1)	(0)

3) 障害種別ごとの利用状況

(単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他
計	2	8	27	2	2	8	27	2	2	7	21	2
(男)	(1)	(5)	(22)	(1)	(1)	(5)	(22)	(1)	(1)	(5)	(19)	(1)
(女)	(1)	(3)	(5)	(1)	(1)	(3)	(5)	(1)	(1)	(2)	(3)	(1)

4 サービス提供状況

	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・レク活動	創作活動	季節行事 他
4月	買物学習	図書館、柳瀬体育館、公園、神社、海王丸	運動、楽器遊び、ドライブ、ヒップホップ、ビックカルタ、クイズ	作品作り、おやつ作り	お誕生会、壁面装飾、花見
5月	買い物学習 お楽しみランチ 育てよう	図書館、柳瀬体育館、公園	運動、楽器遊び、ドライブ、ヒップホップ、ビックカルタ、ビッグ神経衰弱、クイズ	作品作り、おやつ作り	お誕生会、壁面装飾、母の日カードづくり
6月	育てよう	図書館、柳瀬体育館、公園、エレガガーデン	運動、楽器遊び、ドライブ、ヒップホップ、ビックカルタ、クイズ、新聞紙遊び	作品作り、おやつ作り	お誕生会、壁面装飾

7月	お楽しみランチ 育てよう	図書館、柳瀬体育 館、公園	運動、楽器遊び、ド ライブ、ヒップホッ プ、クイズ、プログ ラミング道場	作品作り、おや つ作り、臨床美 術	お誕生会、壁面 装飾、七夕飾 り、ブルーベ リー狩り（もの がたりの街）
8月	お楽しみランチ カレー作り 買物学習 育てよう	図書館、避難訓練 （火災）、氷見ラボ	運動、楽器遊び、ド ライブ、音楽療法、 ヒップホップ、クイ ズ	作品作り、おや つ作り、ハーバ リウム教室、臨 床美術、プリ ザーブドフラワー 教室、カラーサ ンドアート、段 ボールお絵かき	お誕生会、壁面 装飾、夏祭りラ ンチ、釣りフェ ス、スイカ割り
9月	育てよう	図書館、柳瀬体育 館、公園	運動、楽器遊び、ド ライブ、ヒップホッ プ、ビックオセロ、 クイズ、折り紙遊 び、新聞紙遊び	作品作り、おや つ作り	お誕生会、壁面 装飾、芋ほり （東開発環境保 全会さん）、お 月見クイズ
10月	カレー作り 買物学習	図書館、柳瀬体育 館、公園	運動、楽器遊び、ド ライブ、ヒップホッ プ、ビックカルタ	作品作り、おや つ作り、段ボ ールお絵かき	お誕生会、壁面 装飾、お楽し みハロウィン、 芋ほり（東開発 環境保全会さ ん）
11月	カレー作り テイクアウトラン チ 茶道教室 買物学習	図書館、柳瀬体育 館、公園	運動、楽器遊び、ド ライブ、ヒップホッ プ、ビックカルタ、 ビッグ神経衰弱、ク イズ	作品作り、おや つ作り	お誕生会、壁面 装飾
12月	買物学習 うどん作り ケーキ作り 災害講習会（水 害）	図書館、柳瀬体育 館、避難訓練（水 害）	運動、楽器遊び、ド ライブ、音楽療法、 ヒップホップ、クイ ズ、プログラミング 道場、ビックオセロ	作品作り、おや つ作り、段ボ ールお絵かき、プ リザーブドフラ ワー教室	お誕生会、壁面 装飾、クリスマ ス会年賀状
1月	買物学習	図書館、柳瀬体育館	運動、楽器遊び、ド ライブ、ヒップホッ プ、クイズ、水習字	作品作り、おや つ作り	初詣、壁面装 飾、お楽しみ新 年会、すごろく 遊び、お誕生 会、絵馬づくり
2月	茶道教室 買物学習	図書館、柳瀬体育館	運動、楽器遊び、 ヒップホップ、ビッ クカルタ、クイズ、 新聞紙遊び	作品作り、おや つ作り	壁面装飾、豆ま きフェス、ス イートクイズ、 お誕生会
3月	お楽しみランチ 焼そば作り おにぎり作り 買物学習	図書館、避難訓練 （地震）、柳瀬体育 館	運動、楽器遊び、ド ライブ、ヒップホッ プ、ビックカルタ、 クイズ、水習字	作品作り、おや つ作り	ひな祭りクイ ズ、壁面装飾、 お楽しみ反省 会、お誕生会

5 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

火災避難訓練	1回
水害避難訓練	1回
地震緊急速報対応訓練	1回

放課後等デイサービス事業所 きつずる一むごみ

1 職員研修

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
外部研修	7回	8回	12回
内部研修	5回	1回	5回
自己啓発研修	0回	0回	0回

2 来園者

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
見学	3団体(個人)	4団体(個人)	4団体(個人)
ボランティア	0団体(個人)	0団体(個人)	0団体(個人)
実習生			
大学	0人	1人	1人
短期大学	0人	0人	0人
専門学校	0人	0人	0人
高校	0人	0人	0人

3 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数
在籍状況	10	--	18	6.3	10	2/1	19	10.2	10	0/4	15	8.7

2) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在)

(単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他
計	12	6	0	0	11	4	4	0	11	4	4	0
(男)	(12)	(4)	(0)	(0)	(11)	(4)	(2)	(0)	(11)	(4)	(3)	(0)
(女)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)

3) 障害種別ごとの利用状況

(単位：人)

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他
計	1	10	7	0	1	10	7	1	1	10	4	0
(男)	(1)	(8)	(7)	(0)	(1)	(8)	(7)	(1)	(1)	(9)	(4)	(0)
(女)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)

4 サービス提供状況

	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・レク活動	創作活動	季節行事 他
4月	野菜作り、買い物	図書館、公園、神社	キックボード、一輪車、風船バレー、ピンポン	アイロンビーズ、ブロック、プラレール	お花見、お誕生会、おたまじゃくし探し
5月	野菜作り、収穫、花の苗植え、買い物	ドライブ、公園	キックボード、コマ、玉入れ、キャッチボール	塗り絵、ハンドベースボール	カブトムシ探し
6月	野菜作り、買い物	ドライブ、公園、氷見ラボ	キックボード、工作、キャッチボール、玉入れ	塗り絵	昆虫採集、パネルシアター、おたまじゃくし
7月	野菜作り 収穫	図書館、公園、買い物、海	キックボード、水遊び、シャボン玉	塗り絵	昆虫採集、海、水遊び、七夕、パネルシアター、お誕生会

8月	野菜作り、収穫、 買い物	公園、ドライブ、動 物園	キックボード、DVD鑑 賞、靴飛ばし	おやつ作り、ス ライム、小麦粉 年度	かき氷、昆虫採 取、スイカ割、 頼成の森、水記 念公園
9月	野菜作り、収穫、 買い物	図書館、公園、ドラ イブ	キックボード、ゲー ム遊び、キャッチ ボール、DVD鑑賞	作品作り、アイ ロンビーズ	お茶会、お誕生 会
10月	花の種まき	図書館、公園、避難 訓練	音楽、ゲーム遊び、 フリスビー、キック ボード	おやつ作り、ア イロンビーズ、 塗り絵	秋探し、お誕生 会
11月		図書館、公園、買い 物、避難訓練	キックボード、音 楽、ゲーム遊び	おやつ作り、ア イロンビーズ	お誕生会
12月	買い物	図書館、公園	キックボード、音 楽、けん玉	おやつ作り、アイ ロンビーズ	クリスマス会、パ ネルシアター
1月		図書館、買い物、公 園	キックボード、音 楽、トランプ、玉入 れ、しゃぼん玉、認 知トレーニング	アイロンビーズ	
2月	手洗いチェック	図書館、公園	キックボード、けん 玉、風船バレー、認 知トレーニング	アイロンビー ズ、おやつ作り	
3月	買い物、ピアゴで ランチ	ドライブ、公園、避 難訓練	キックボード、風船 バレー、認知トレー ニング	アイロンビーズ	お誕生会

5 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

火災避難訓練	2回
水害避難訓練	0回
地震緊急速報対応訓練	0回

障がい者サポートセンターきらり

1 障害児等療育支援事業

事業実施件数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
訪問療育等指導	14	5	8
外来療育等指導	16	24	26
施設支援療育等指導	13	11	8
計	43	40	42

2 相談支援事業

相談支援を利用している障害者等の人数

(単位：人)

	令和3年度								令和4年度								令和5年度							
	身体	知的	精神	発達	高次機能	重症心身	他	計	身体	知的	精神	発達	高次機能	重症心身	他	計	身体	知的	精神	発達	高次機能	重症心身	他	計
障害者	21	271	45	17	1	8	2	365	32	262	49	14	1	10	2	370	17	297	40	13	1	8	2	378
障害児	5	55	0	30	0	5	0	95	6	60	0	39	0	4	0	109	5	57	0	40	0	4	2	108
計	26	326	45	47	1	13	2	460	38	322	49	53	1	14	2	479	22	354	40	53	1	12	4	486

3 障害者就業・生活支援センター事業

事業実施件数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支援対象者登録数	514	520	555
支援対象者への相談、支援件数	3,211	3,276	2,960
内訳 就職に向けた相談・支援	(690)	(616)	(656)
職場定着に向けた相談・支援	(765)	(507)	(916)
日常生活、社会生活に関する相談・支援	(0)	(2)	(2)
就業と生活の両方にわたる相談	(1,756)	(2,151)	(1,386)
実習の斡旋件数	32	32	40
就職件数	30	22	44
職場訪問による職場定着支援の実施件数	402	368	410

砺波圏域障害者基幹相談支援センター

1 総合的・専門的な相談支援

1) 障がい別相談者数 (人数)

	令和3年度							令和4年度							令和5年度							
	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計	
身体障害	0	0	1	3	3	0	7	1	1	1	2	0	0	5	9	0	10	1	0	0	0	20
重症心身	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	213	16	35	0	0	0	264	415	1	2	0	0	0	418	124	4	155	0	0	0	0	283
精神障害	54	9	2	0	0	0	65	206	5	4	0	0	0	215	139	3	7	0	0	0	0	149
発達障害	68	30	3	0	29	0	130	159	54	0	0	0	0	213	180	49	0	0	0	0	0	229
高次脳機能障害	15	0	0	0	0	0	15	30	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0
難病等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	13
支援機関等	205	124	141	185	0	9	664	290	202	180	185	32	4	893	432	204	199	156	28	7	1026	
計	555	179	182	188	32	9	1145	1101	263	187	187	32	4	1774	884	260	384	157	28	7	1720	

2) 相談者別相談件数 (延件数)

	令和3年度							令和4年度							令和5年度						
	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計
家族	25	15	2	0	0	0	42	68	19	4	1	0	0	92	52	16	43	1	0	0	112
本人	208	26	6	3	7	8	258	458	26	3	2	0	4	493	271	35	81	10	0	4	401
福祉担当課	44	26	51	25	0	0	146	67	34	32	25	0	0	158	92	26	38	18	0	0	174
こども課	8	0	2	3	0	0	13	76	0	1	0	0	0	77	46	0	0	0	3	0	49
民生・児童委員	2	1	1	0	0	0	4	9	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0
サービス事業所	62	34	51	26	19	0	192	171	107	111	38	2	0	429	130	98	124	21	1	1	375
相談事業所	122	67	45	117	0	0	351	89	84	45	70	3	0	291	149	73	45	73	2	0	342
支援学校	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	10	0	0	13	0	0	18	1	0	0	19
医療機関	18	0	0	2	6	0	26	43	5	5	7	0	0	60	30	2	8	2	0	0	42
その他	110	30	38	35	0	1	214	221	25	11	53	27	0	337	186	33	43	33	22	2	319
計	599	199	196	211	32	9	1246	1202	301	214	206	32	4	1959	956	283	400	159	28	7	1833

※ 本人に複数の支援者、関係機関等が関与するため件数が膨らむ

3) 研修

外部研修参加数 (オンライン研修含む)	延55名
---------------------	------

2 地域の相談支援体制の強化

相談支援事業所への助言等件数	342回
研修会開催	個別ケア検討会
	3回
	延54名
相談支援事業所情報交換会	4回
主任相談支援専門員の相談支援事業所訪問	7事業所
講師派遣	県立支援学校、砺波厚生センター、となみ野家族会等
	9回

3 地域移行・地域定着の促進

精神障害者地域移行 (退院) 支援ワーキング参加	2回
精神科病院と相談支援事業所との連絡会	1回

4 権利擁護・虐待防止に関する啓発

相談件数	25件
研修会開催	障害者福祉施設従事者等のための虐待防止研修
	152名

5 自立支援協議会への参加協力

基幹センター事業報告	本会議	1回
協議会協力	運営会議、相談支援事業所連絡会、サービス事業所連絡会、権利擁護・虐待防止委員会	15回
協議会参加	本会議、当事者委員会、障害者差別解消支援委員会	9回
協議会情報公開	ホームページによる活動報告等	6回

6 地域生活支援拠点等の整備の促進、運営の充実

地域生活支援拠点等整備協力	認定事前ヒヤリング協力	4事業所
---------------	-------------	------

7 その他

センター事業説明	たびだちの会広報寄稿、砺波市社協	2回
3市との連携	障害福祉担当課長会議、担当者会議等	3回
各種機関等への協力	委員会委員、協議会理事、研修ファシリテーター等	15機関等